

J R 東海労働組合関西地「申」第21号
2023年3月6日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 臼井 俊一 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 笹田 伸治

「のぞみ22号及びのぞみ4号に於ける車両故障」に関する申し入れ

去る、2月16日15時02分頃、小田原駅～新横浜駅間走行中の22A列車（K16編成）が運転台モニターに「バランス異常」を認め、停止した。その後運転士による床下点検を実施した結果、小田原駅まで移動し、乗車中のお客様は後続列車に乗り換えて頂くなど、最大160分の遅れが生じた。

また、2月23日11時14分頃、新横浜駅に入駅中の4A列車（F15編成）でも運転台モニターに「バランス異常」を認め、停止した。当該列車は新横浜駅～東京駅間の運転を取りやめ、乗車中のお客様は後続列車に乗り換えるなど、22A列車に続きご利用のお客様に多大なご迷惑をお掛けした。

今回の車両故障は、いずれも台車及び駆動系関係の故障であり、2017年12月11日に発生した34A列車の台車枠亀裂事故の重大インシデント事故を彷彿させる重大な故障であると考えます。

よって、以下のように申し入れるので早急に団体交渉を開催すること。

記

1. 2月16日の22A列車の車両故障の詳細について、時系列で明らかにすること。
2. 22A列車（K16編成）の運行履歴及び検査履歴を明らかにすること。
3. 22A列車、車両故障の原因と対策を明らかにすること。
4. 22A列車、「停止地点～小田原駅間」及び「小田原駅～東京駅間」の運転方法を明らかにすること。
5. 2月23日の4A列車の車両故障の詳細について、時系列で明らかにすること。

6. 4A列車（F15編成）の運行履歴及び検査履歴を明らかにすること。
7. 4A列車、車両故障の原因と対策を明らかにすること。
8. 4A列車、「新横浜駅～東京駅間」の運転方法を明らかにすること。

以上